

日本企業のブランドランキング

ブランディング支援事業をグローバルに展開されているインターブランド社は、毎年グローバル企業のブランド価値を独自の指標で評価し、TOP 100 ブランド “Global Best Brands”を公表していますが、ここ数年はワールドワイドのブランドに加え、各国の Best Brands も発表しています。この2月には、“Best Japan Brands 2020”として日本企業の Top100 のブランドが発表されました。

(ニュースリリース) https://www.interbrandjapan.com/ja/data/200218_bjbprelease.pdf

(ランキング) https://www.interbrandjapan.com/ja/bib/japan_brands/2020.html

昨年 2019 年の発表では日本企業のグローバルなブランド 40 ブランド、国内ブランド 40 ブランドがそれぞれ報告されましたが、今回は、グローバル・国内問わず一緒になって計 100 のブランドが報告されました。今回の 100 ブランドのうち前年との関係で 80 ブランドに限定して比較するとブランド価値の対前年成長率は 0.9.%増となっているも、各国のブランドを含めた 2019 年秋発表の“Global Best Brands 2019”における対前年成長率の 5.6%よりは低くなっているとのこと。一概には結論できませんが、日本企業のビジネス展開は外国の企業と比べるとやや鈍いということでしょうか。

一方、今回の “Best Japan Brands 2020” では、以下のブランドが初めてランク入りしました。

7-Eleven (18 位)、HOYA (50 位)、KEYENCE (55 位)、Pigeon (64 位)、Murata (70 位)、Asahi Kasei (77 位)、KONAMI (89 位)、WORKMAN (94 位)、Kewpie (100 位)

これら新入りブランドの中でも注目したいのが、概して一般消費者向けではない HOYA、KEYENCE、Murata のブランドですね。いわゆる B to B の事業でもブランドは事業展開には必須の資産であり、ブランドの展開には注力しているところ。最近のテレビの広告でも B to B の企業の CM も目にします。ブランド自体は決して「黒子」ではないですね。

また、WORKMAN は作業服・安全靴といった、どちらかといえば限定的な分野でのブランドですが、最近 WORKMAN Plus で評判になっているブランドであり、ランク入りも納得できます。

“Best Japan Brands 2020” の 1 位～5 位は、前年同様、Toyota、Honda、Nissan、Canon、Sony のグローバルブランドとして広く認知されているブランドですが、国内ビジネスの比率が大きいブランドでは NTT DOCOMO、SoftBank、au 等お馴染みの携帯電話キャリアのブランドが上位にランクされています。また、これまでも常連でランク入りしている以下のブランドは、特に前年に比べブランド価値が大きく成長したものとして報告されています。

Nintendo (10 位)、Shiseido (17 位)、Yamaha (32 位)、KOSÉ (37 位)、BANDAI NAMCO (65 位)、

以上が今回発表されたインターブランド社の “Best Japan Brands 2020” の概要ですが、ブランドランキングは他にも行っています。昨年 11 月に WPP および KANTAR のグループがグローバルブランドのランキングとは別に日本ブランドを対象とした Top50 のブランドを発表しております。

(ニュースリリース) <https://www.kantar.jp/solutions/reports/11168>

(ランキング) <https://www.kantar.jp/solutions/reports/brandz>

日経グループの日経B Pコンサルティングでも数多くの日本企業のブランドを対象に毎年、調査・評価し、各指標・分野等に応じたランキングを発表しています。この3月には本年版の「ブランド・ジャパン 2020」が発表される予定です。

(ニュースリリース) https://consult.nikkeibp.co.jp/ccl/atcl/20200131_3/

(2019年ランキング) https://consult.nikkeibp.co.jp/ccl/atcl/20190322_1/

以上、ブランドのランキング情報ですが、自社のブランドがどう評価されているか、どんなブランドが高く評価されているのか等は気になりますね。是非、各サイトを訪れてみてください。以前のランキングもご覧になれます。

以上

(2020年3月)

弁理士 笹木 幸雄

〔 日本パテントデータサービス株式会社
ブランディング部 顧問 〕